

測量計算 (TS・GPS)

A-SurveyPC

Windows

エース プロジェクト

2021/05

Ver2.63.8 で追加、された機能を説明します。

- ・逆幅杭計算で、断面作成を修正
- ・APA ファイルの結合を、修正

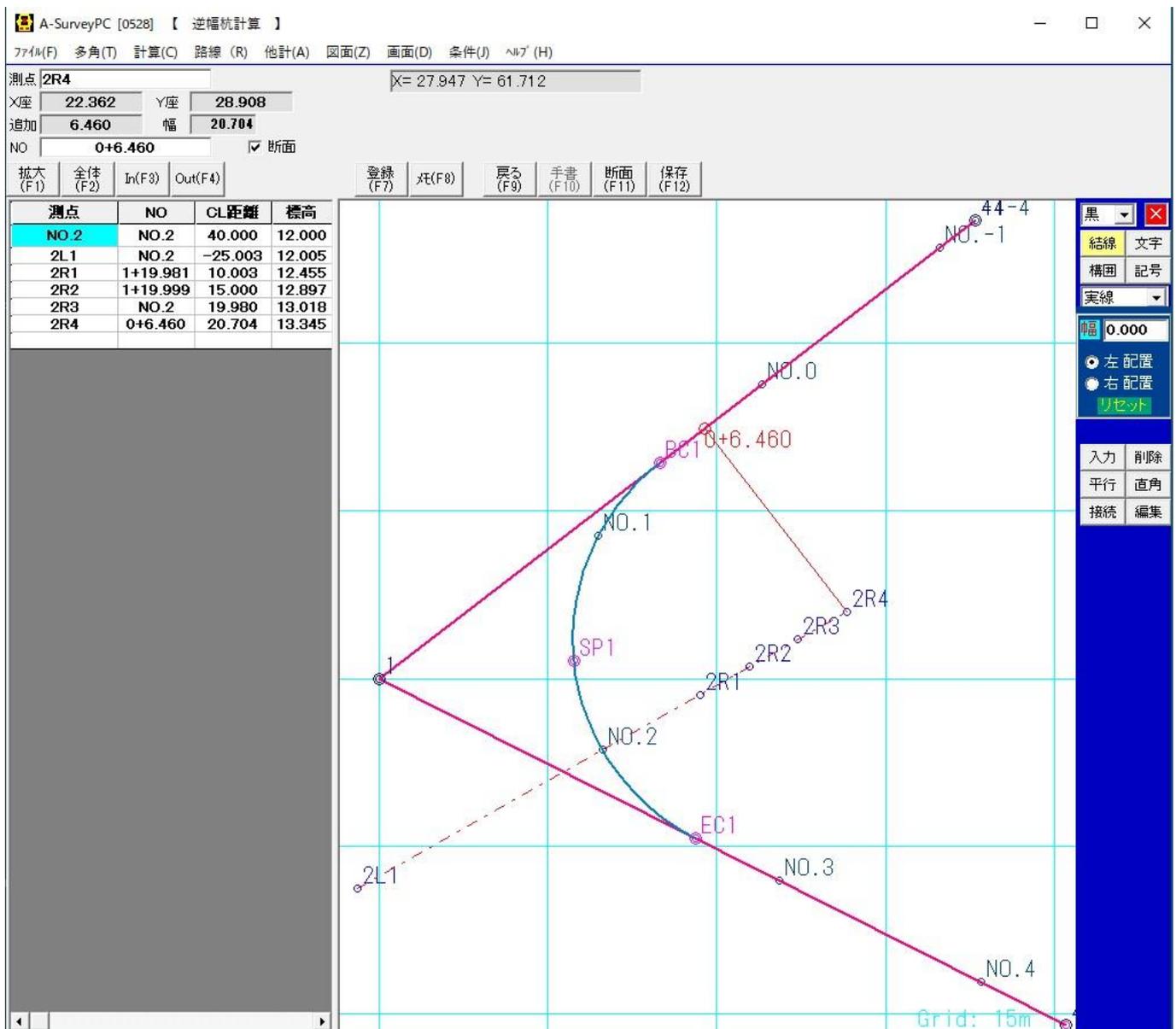
1、逆幅杭計算で、断面作成を修正

逆幅杭計算を行うと、複数の点が求まります。

例えば、下記の図で 2R4 の逆幅杭計算を行うと直線部分に 2 個
曲線部分に 1 個の計 3 個が求まります。

A-Survey では、3 個の中から近い(幅が小さい)点を、求点としています。

2R4 では、直線部分の方が近いので 0+6.460 に求まっています。



今回、「逆幅杭計算」で、断面を作成(横断 SIMA)する処理を変更しました。

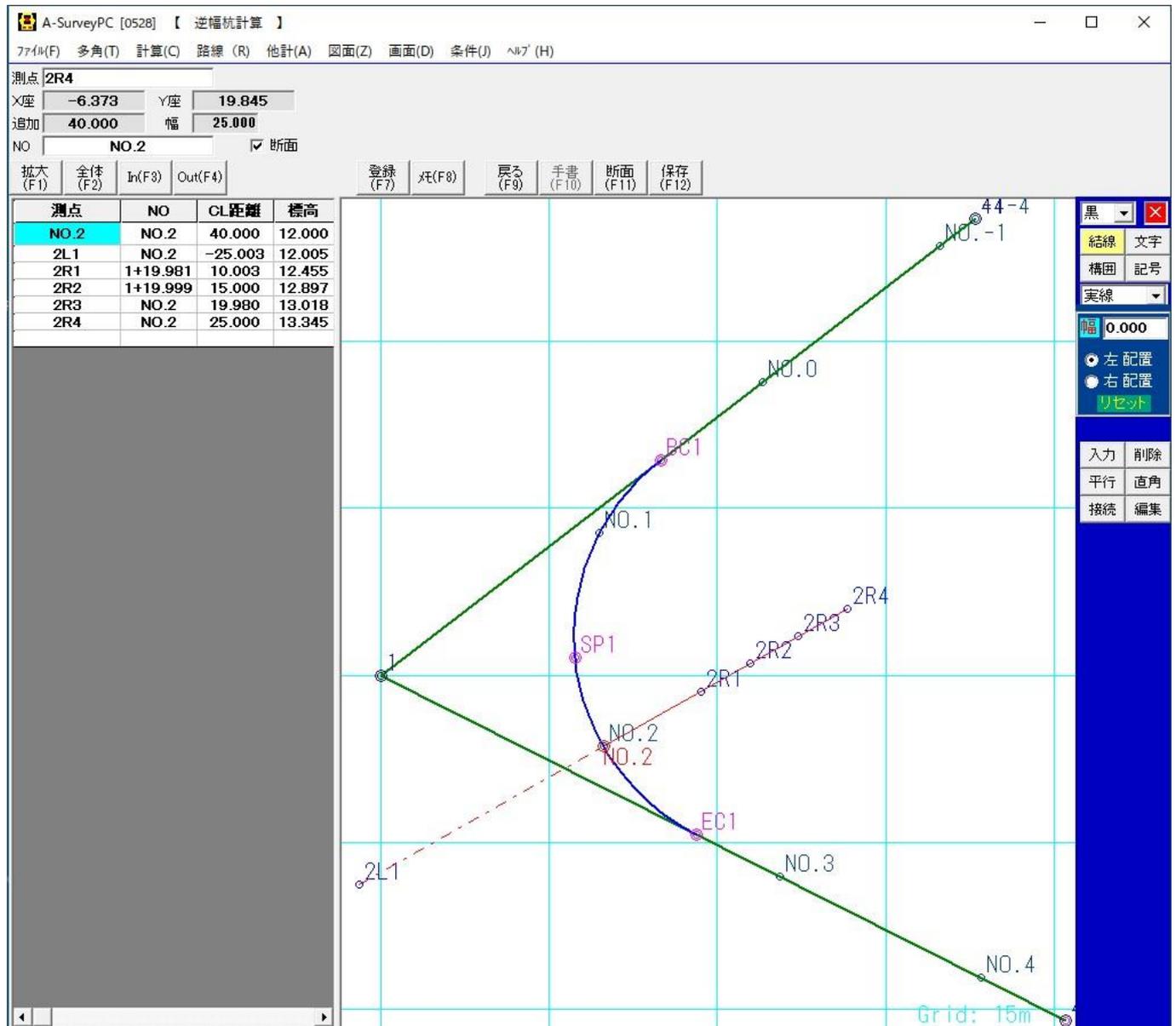
この断面機能では、最初にセンターを指示します。

これで、要素区間が決まりますので (例では BC1 から EC1 の曲線区間です)

以後の、指示された点はこの区間でのみ逆幅杭計算をします。

2R4 の結果が 0+6.460 ではなく、NO.2 となり

これにより、横断 SIMA を作成できます。



2、APA ファイルの結合を、修正

APA ファイルの結合にて、日付の違う APA ファイルを結合すると最初の APA ファイルの日付のみを取り込んでいました。
全てのファイルの日付情報を取り込む様に、変更しました。